

小山市内のNPO等市民活動団体・個人の新型コロナウイルス感染症への対応及び影響に関するアンケート 調査レポート

■調査目的

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、市内の市民活動に取り組む団体や個人が、新型コロナウイルス感染症によってどのような影響を受け、どのような支援を必要としているのかについて明らかにし、より良い今後の支援につなげていくために実施。

■調査概要

調査方法：アンケート調査（当センターweb サイト上にアンケートを掲示し、回収）

期間：2020年5月10日～6月20日

調査対象：小山市市民活動センター登録団体およびセンター利用団体、個人

回収方法：回答はweb アンケートフォーム、質問用紙のいずれかにて受付

回答数：26

■アンケート結果まとめ

- ・回答者の属性は、全体の54%が任意の市民団体、次にNPO法人23%、その他の法人が15%となった。
- ・緊急事態宣言の期間を終えた5～6月時点で、約9割の団体の活動に影響をおよぼし、62%の団体が組織の運営・経営上の影響を受けている。
- ・約6割の団体が安定した活動が行えておらず、約4割の団体が経済的な打撃をうけている。また団体の意思決定やマネジメントが困難となり、団体の運営・経営の見通しが難しい状況となっている。
- ・ほとんどの団体で感染拡大への対策を講じている他、オンラインツールの活用やテレワークを取り入れるなど、コロナ禍における活動や運営方法の模索を行っている。

【求められる支援】

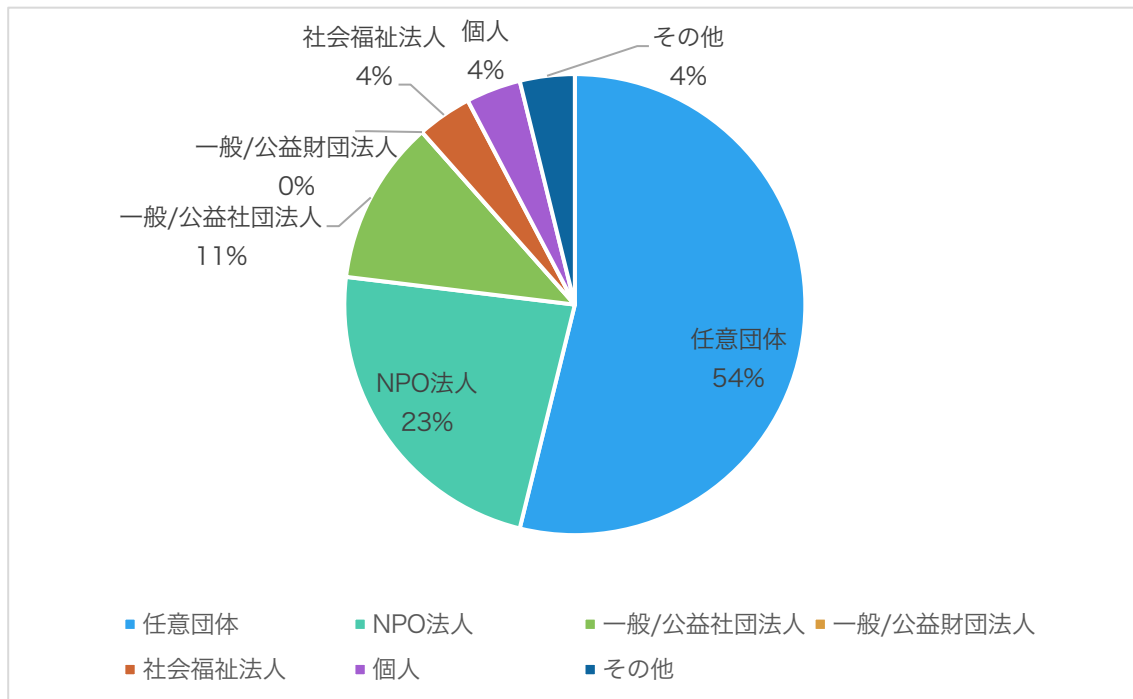
- ・支援としては、「情報」を集約し適切に届けることが必要とされている。オンラインツールの導入、コロナ禍における活動や各種手続きのサポートなど、新しい活動方法への支援が求められている。

■当センターの対応

アンケート結果を受けて以下2点の取り組みをはじめた。

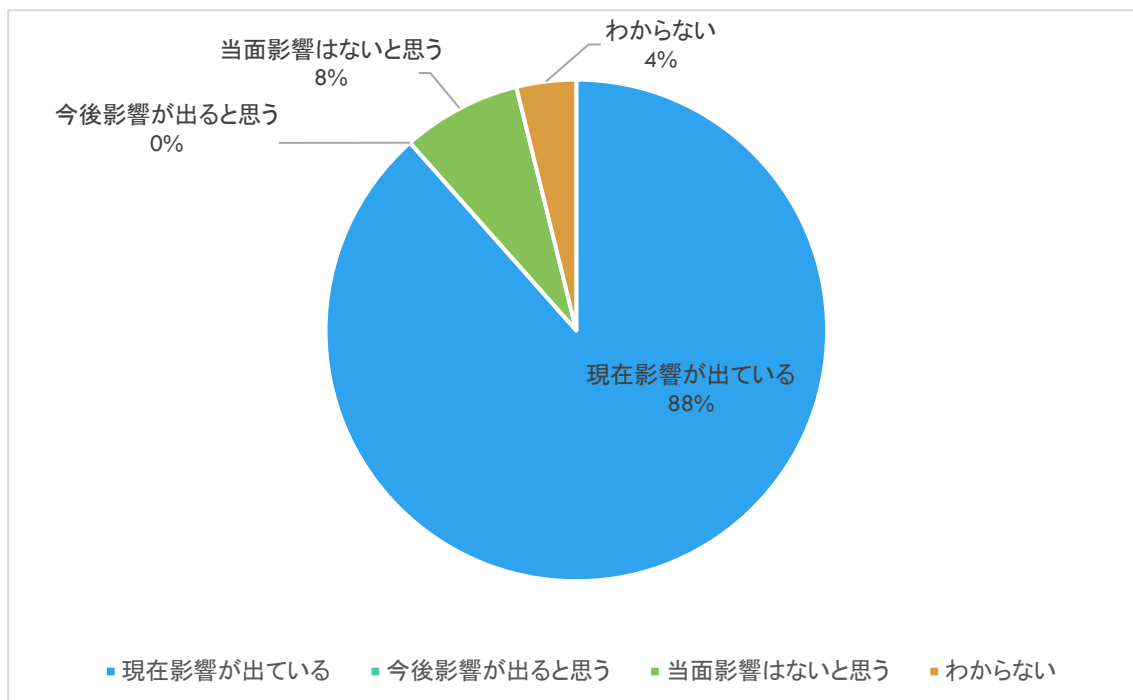
- ①オンラインツールを活用するセミナーの開催。6月に第1回を開催し、定員いっぱいとなる10名に参加いただいた。好評につき8月に第2回目を開催する予定。
- ②新型コロナウイルス感染症対策にかかわる支援の情報等を集め、定期的にSNSやwebサイト等で発信している。

■回答者属性

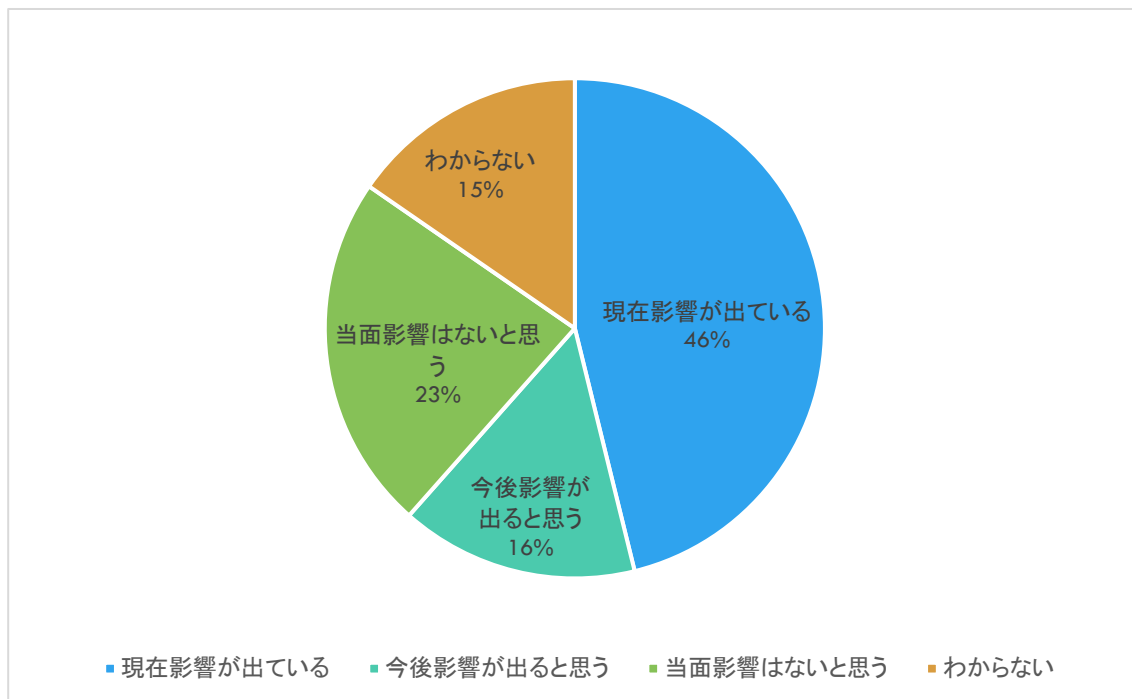


■アンケート回答

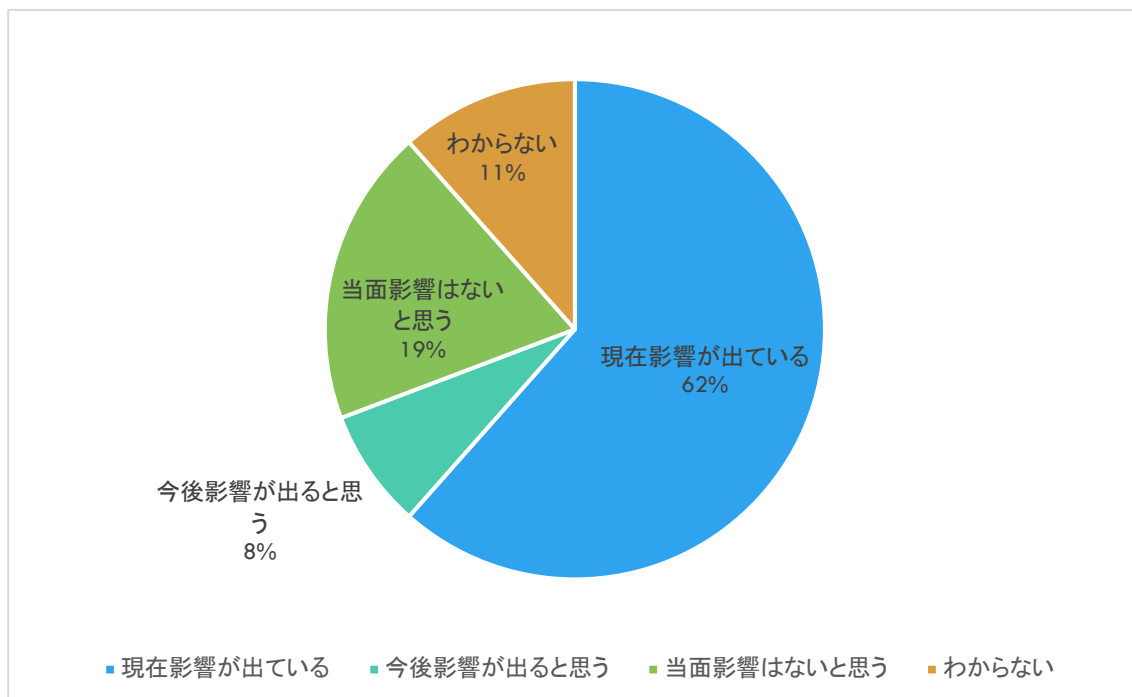
(1)新型コロナウイルス感染拡大により、「活動」の「利用者」に影響が生じていますか。
(N=26)



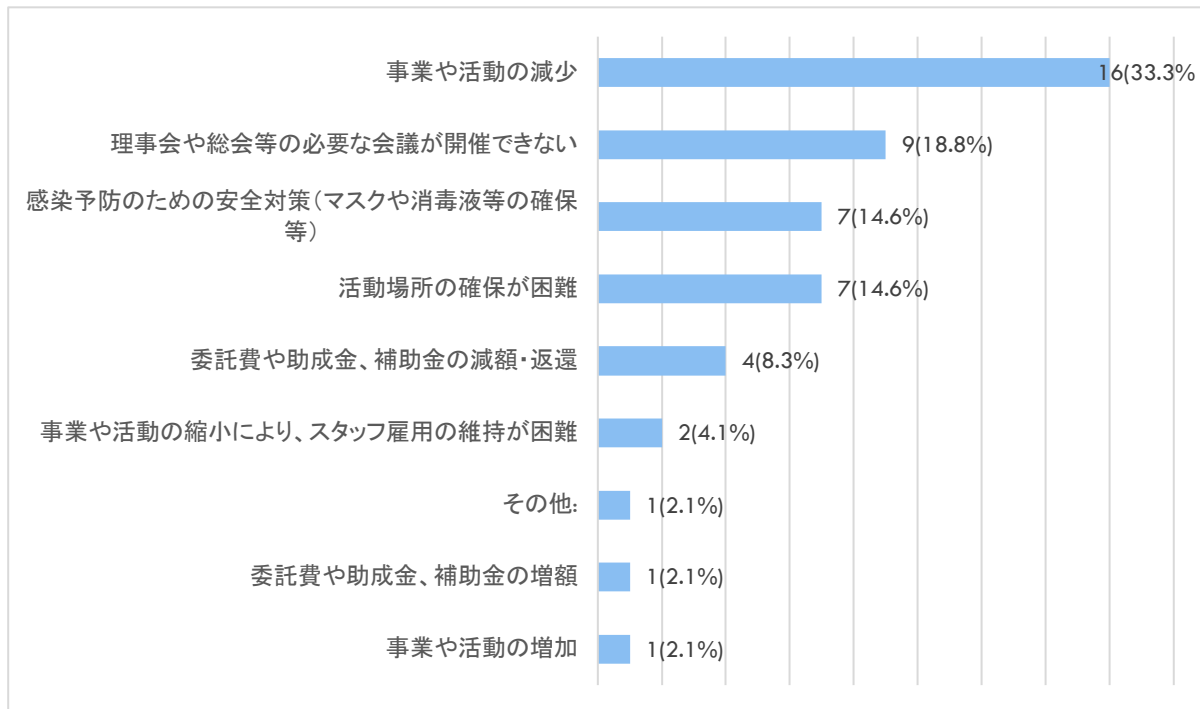
(2)新型コロナウイルス感染拡大により、「活動」の「支援者」に影響が生じていますか。
(N=26)



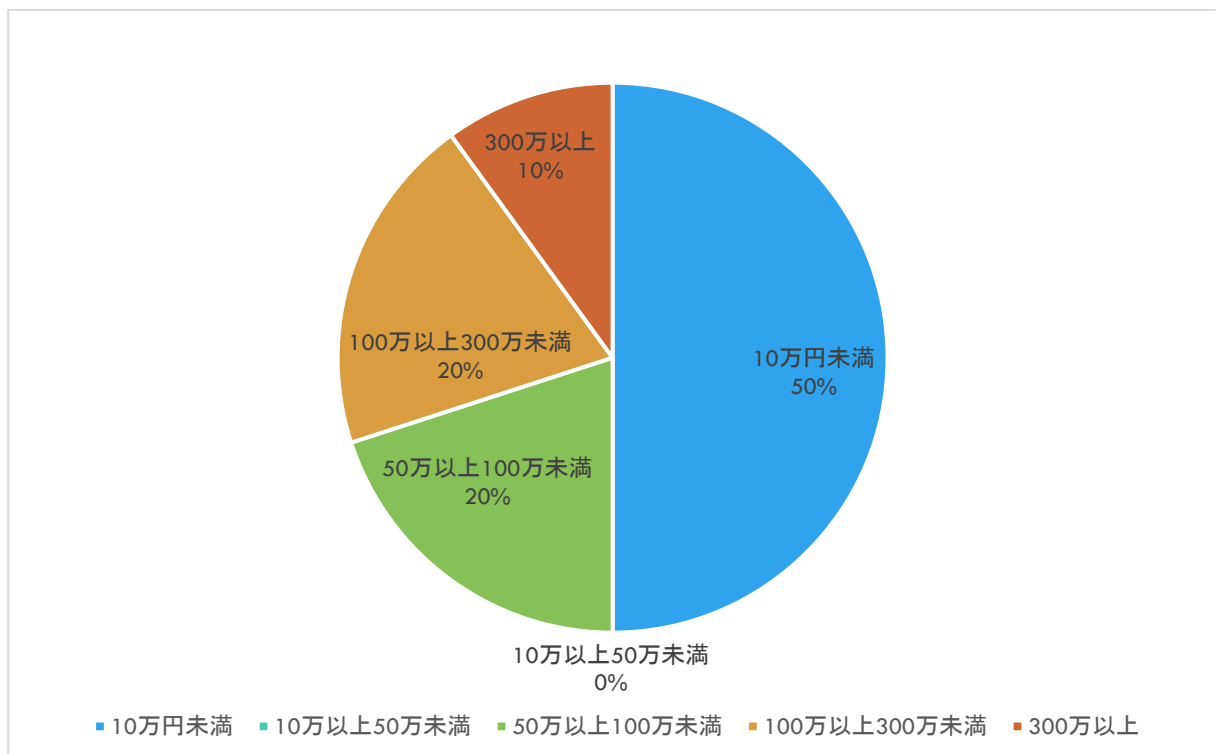
(3)新型コロナウイルス感染拡大により「組織の運営・経営」に影響が生じていますか。
(N=26)



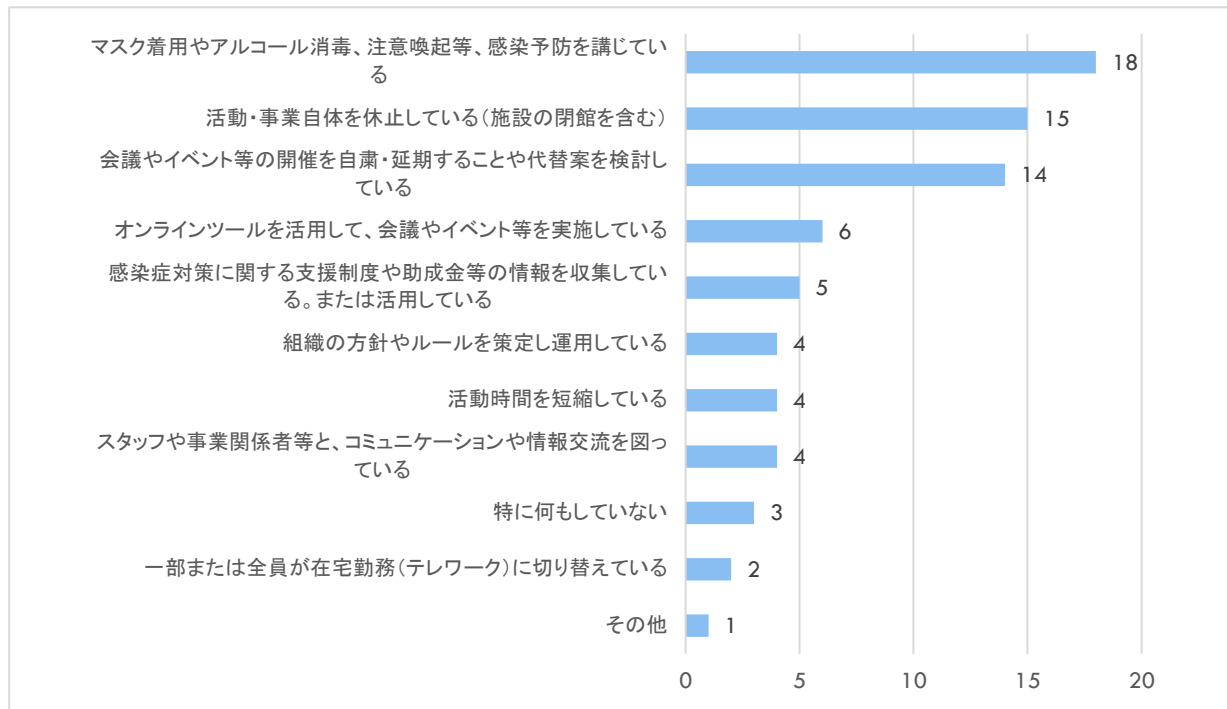
(4)影響が出ている/今後影響が出ると選択された方におたずねします。具体的な影響について教えてください。※複数選択可 (N=48)



(5) (4)で「事業や活動の減少」、「委託費や助成金、補助金の減額・返還」を選択された方におたずねします。減少した売上見込等はどのくらいでしょうか。※ (N=10)

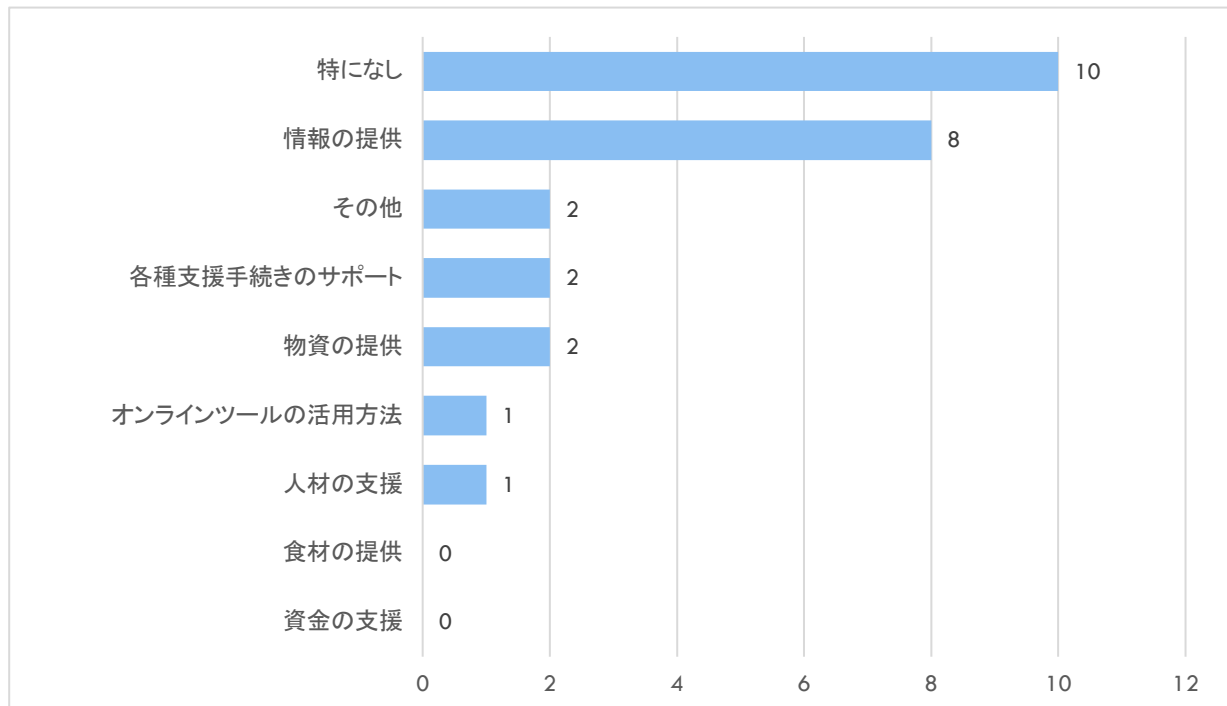


(6) 感染拡大の防止、感染の予防のために、組織運営や活動でどのような対策や工夫を行っていますか。 ※複数選択可 (N=76)



(7) 必要な支援について教えてください。

(N=26)



(8)新型コロナウイルス感染拡大をうけて、対策として新たな取り組みの実施または検討されていること、やり方を変えてみて良かったことがありましたら、できるだけ詳しく教えてください。

【SNSやオンラインツールに関すること】

- ・総会の書面送付開催、オンライン TV 会議の導入
- ・オンラインツールの調査及び検討と試行
- ・オンラインイベントへのハードルが下がっているため、活用して新たなイベントを企画したい
- ・オンラインツールの活用
- ・オンライン研修等の実施
- ・SNS を活用して 開催できないことにより困っている人がいないか、投げかけている
- ・おやま～るを借りてイタリア語の学習をしている。オンラインを使っただけの学習も検討したが、年配者が機器を使えないなどの問題があった。しかし、引き続き検討していきたい。

【コミュニケーションに関すること】

- ・対面がむずかしい事があり、電話での会話となったことでよりていねいにお話が出来た。
- ・個人傾聴はお宅訪問が出来ないので電話・ハガキでの連絡。玄関先の安否確認。
- ・今年は、コロナウィルス感染についても、まだまだ判断ができない状態なので1対1のカウンセリングから、カウンセリングまでは必要のない人まで、幅広く対応し、予約制の10分間傾聴を行う。又、電話での話を受け付ける等、コロナ感染対策をしながら、短時間での接触にはなるが、少しでも多くの方にストレスを減らして頂けるような方向で活動を続けたいと思います。

【様々な対応】

- ・自粛の間にゆっくりできた。断捨離をし、整理整頓ができた。バザーに備える。
- ・ドライブスルー。子供支援の弁当提供。
- ・居場所に来られない人にお弁当のテイクアウトを始めた。
- ・全体の職員の認識として、フェーズによる表をつくり業務の範囲を決めたり、コロナへの対応を図ったこと。

(9)その他、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う活動での困りごとや悩んでいることがあれば、差し支えない範囲で教えてください。

- ・オンラインツールを利用するための機器の確保
- ・今後、人との接触が想定されるイベントや研修などの実施に高いハードルができた。どのようにコロナ対策をしておきたいのか、検討が必要。一定のルールのようなものをみんなで考えて、共有できるとありがたい。
- ・あまりにも(必要以上に)コロナ感染を恐れている方もいて、いかがなものかと感じたことがありましたよ。
- ・介護技術等の実務研修が実施できない
- ・一人暮らしのお年寄りなので心の不安等のお話を聞けずにいるのが悩ましい。会として今までのような活動が出来ないので今後どうしていくのか迷っている。
- ・集まって顔をあわせてのコミュニケーションがとりにくい。